

ご当地落語で、柳家花緑が魅せる“福島らしさ”
福島県をテーマにした新作・福島落語をお披露目！東京都内と福島県内で2カ所限定開催



「ロングライフデザイン」をコンセプトに、47都道府県に1つずつトラベルガイド『d design travel』を発刊し、各地の「個性」や「息の長いその土地らしいデザイン」を見直し、紹介する活動を行うD&DEPARTMENT PROJECTは、落語家・柳家花緑と脚本家・藤井青銅とともに、本書新刊の発売に合わせて、その土地をテーマにした新作のご当地落語を作る「d47落語会」を開催しています。

第26回は、2022年5月全国発売となった『d design travel 福島』号の発刊を記念し、藤井青銅が書き下ろす福島県をテーマにした新作落語を柳家花緑が披露します。本公演は、着物に座布団で口演する古典落語1席、洋服で椅子に座り現代の言葉で演じる同時代落語のスタイルでの福島落語1席。そして、『d design travel』発行人のナガオカケンメイと編集長・神藤秀人が聞き手となり、柳家花緑と藤井青銅から福島落語の創作裏話が語られるアフタートークの3部構成です。時代を越えて長く愛される日本の伝統芸能であり、今なお進化する落語の文化に触れながら、福島県の個性や魅力を笑いを通して実感できる落語会です。

東京・渋谷ヒカリエと福島県内の二箇所での限定開催で、9月には、福島会場での収録映像を、オンラインで有料配信予定です。福島県に縁がある方もない方も、落語好きの方も落語を観るのは初めてという方も。大人から子供まで幅広く楽しめる企画です。



演目1：着物に座布団で1席
昔ながらの古典落語



演目2：洋服で椅子に座り1席
新作ご当地落語



演目3：新作落語ができるまでを語る
トークショー

名称	d47落語会 第26回「福島県」
日時	東京会場 2022年 8月18日（木）・19日（金）開演19:00、福島会場 2022年 8月24日（水）開演18:30
会場	東京会場 渋谷ヒカリエ 8/COURT（東京都渋谷区渋谷2-21-1 渋谷ヒカリエ8F） 福島会場 YUMORI ONSEN HOSTEL（福島県福島市土湯温泉町字堂ノ上7-1）
価格	前売券¥3,630、当日券¥3,850（いずれも税込・自由席。福島会場はYUMORIでの入浴料込み。）
申込	D&DEPARTMENT webサイト、d47 MUSEUM、D&DEPARTMENT TOKYO YUMORI ONSEN HOSTEL※、電話※（03-6427-2301 / d47）※福島会場のみ販売
URL	https://www.d-department.com/item/D47_RAKUGO.html
演目	古典落語1席、福島落語1席、アフタートーク
出演	柳家花緑（落語家）、藤井青銅（脚本家）、 聞き手：ナガオカケンメイ（d design travel 発行人）、神藤秀人（d design travel編集長）
問合せ	03-6427-2301（d47/D&DEPARTMENT） / 主催 D&DEPARTMENT PROJECT

メディア関係者様向け：提供画像は次のURLよりダウンロードが可能です。 shorturl.at/nAH18

● d47落語会(ディヨンナナらくごかい)

柳家花緑が藤井青銅の脚本による同時代落語を演じる姿から、ナガオカケンメイが落語の可能性に衝撃を受けたことを機に発足。『d design travel』本書には取りきらないその土地の個性を、立体的に感じる連動企画として2012年より展開しています。ここで披露するご当地落語は、上方落語・江戸落語と呼ばれる大阪や東京に根ざす古典落語では演じられてこなかった、地域それぞれの独自性を存分に感じることができます。また、47つのご当地落語がその土地の魅力を伝えるものとして、長く親しまれ、継承されることを目的に、都道府県からご要望をいただいた際は、ご当地落語を奉納し、公演後も、プロの落語家を始め、落語研究会の学生や、落語が趣味の会社員など、場所や人を問わず自由に幅広く演じられていくことを目指します。

d47落語会 webサイト：https://www.d-department.com/item/D47_RAKUGO.html

「d47落語会」これまでの公演

- 1.東京都、2.山口県、3.沖縄県、4.山梨県、5.富山県、6.佐賀県、7.福岡県、8.鹿児島県、9.山形県、10.大分県、
- 11.京都府、12.滋賀県、13.岐阜県、14.愛知県、15.奈良県、16.埼玉県、17.静岡県、18.群馬県、19.千葉県、20.岩手県、
- 21.高知県、22.香川県、23.愛媛県、24.岡山県、25.茨城県

●出演者プロフィール

柳家 花緑 (やなぎや・かろく) / 落語家

1971年8月2日生まれ。東京都出身。1987年3月中学卒業後、祖父・五代目柳家小さんに入門。前座名 九太郎。1989年9月、二ツ目昇進。小緑と改名。1994年、戦後最年少の22歳で真打昇進。柳家花緑と改名。スピード感溢れる歯切れの良い語り口が人気で、古典落語はもとより新作落語にも取り組む。他ジャンルからのオファーも多く、番組の司会やナビゲーター・俳優としても活躍中。



藤井 青銅 (ふじい・せいどう) / 脚本家

1955年、山口県生まれ。24歳で第1回「星新一ショートショートコンテスト」入賞後、作家・脚本家・放送作家として活動。脚本・演出・プロデュースを兼ねて腹話術師いっこく堂を売り出す。著書に「ハリウッド・リメイク 桃太郎」(柏書房)、「一千一ギガ物語」(猿江商會)、「一芸を究めない」(春陽堂書店)など多数。柳家花緑とは、2005年NHK『にほんごであそぼ』で知り合う。2011年からは、「同時代落語」の新作を提供している。



ナガオカケンメイ / デザイン活動家・D&DEPARTMENTディレクター

1965年、北海道生まれ、愛知県育ち。ロングライフデザインをテーマに、47の都道府県にデザインの道の駅「D&DEPARTMENT」を作りながら、地域と対話し、「らしさ」の整理、提案、運用を行う。2009年より旅行文化誌『d design travel』刊行。2012年より渋谷ヒカリエ8/にて47都道府県の「らしさ」を常設展示する「d47 MUSEUM」を発案、運営。2013年毎日デザイン賞受賞。



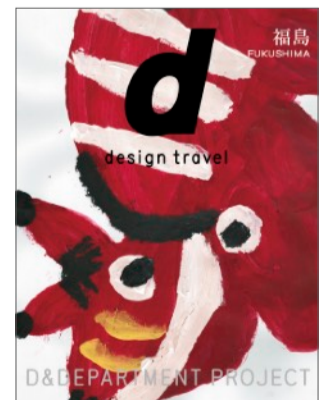
神藤 秀人 (しんどう・ひでと) / d design travel 編集長

1980年、東京生まれ。ロングライフデザインの視点で編集し、47都道府県に1冊ずつ発刊を目指すトラベルガイド『d design travel』誌の編集長。編集・執筆・写真撮影など制作の全般を担当するほか、渋谷ヒカリエ・d47 MUSEUMで開催する『d design travel』と連動した展示会の構成を担当。毎号、特集する県を車で走り回り、展示物をピックアップする旅にも出る。2011年11月から約2ヶ月間福島県に滞在取材し、最新刊「福島号」を5月に全国発売した。



● D&DEPARTMENT PROJECTが発刊する『d design travel』とは

D&DEPARTMENT PROJECT(ディアンドデパートメントプロジェクト)、2000年にデザイナーのナガオカケンメイが創設した「ロングライフデザイン」をテーマとするストアスタイルの活動体。現在は国内外に11店舗(北海道、埼玉、東京、富山、三重、京都、鹿児島、沖縄、韓国ソウル、韓国チェジュ、中国黄山)を展開。『d design travel (ディデザイントラベル)』は、47都道府県の「その土地に長く続く個性」「らしさ」をデザインの視点から選び出し、県ごとに1冊にまとめ、すべての都道府県のガイドブックを出版するプロジェクトとして2009年に創刊。これまでに、岩手、静岡、京都、茨城など発刊し、今年5月に30冊目となる「福島号」を発売。毎号、地域住民参加型の公開編集会議を皮切りに、編集部が現地に2ヶ月間住み込んで取材をする。本書発売の際は、渋谷ヒカリエの「d47 MUSEUM」を中心に誌面と連動した企画を開催する他、編集部が取材裏を紹介するイベントやd47落語会などを、同館と特集県内でも開催。ミュージアム併設の「d47食堂」では本書のために開発する、その土地の食文化を味わえる定食が限定メニューとして登場。見て、触れて、笑って、食べて、主要都市や観光名所だけでなく47それぞれにある日本の個性に気づき、旅したくなるきっかけを立体的に提案している。



『d design travel 福島』
2022年5月13日(金)発売
3,190円(税込)

『d design travel 福島』特集webサイト：https://www.d-department.com/item/D_DESIGN_TRAVEL_FUKUSHIMA.html